

2017年11月6日付 埼玉新聞12面「県央県東」に掲載

資金調達の流れ解説

資金調達について学んでもらおうと、むさし証券（さいたま市大宮区、小高富士夫社長）は2日、さいたま市南区の県立浦和商业高校で特別授業を開催した。金融教育の一環で、県内高校では初の取り組みという。

今回は1年生約280人を対象に、3時間程度の講義を実施。同社員が先生役となり、座学形式で資金調達の方法や銀行、株式の役割などを学び、班ごとでグループワーク

むさし証券
浦和商业高校で特別授業

を行った。「カフェの新規開店」をテーマに各班

でアイデアを出し合い、コンセプトや店の内外装を決め、必要な資金を計算。プレゼンテーションで気に入ったところに投資して株券を発行してもらうなど、一連の資金調



達の流れを体験した。参加した村上怜さん（15）は「楽しんで授業ができた。お店を開く難しさを感じた」と話した。

同校の宮島直弘教諭は「生徒が生き生きとした表情で参加していた。学んだことを日々の授業でも生かしてほしい」と期待を寄せた。同社の吉原保取締役執行役員は「体験を通じて資金調達の難しさを理解してもらうとともに、仕事の大切さを感じてもらえたら」と話していた。（森本勝利）

資金調達の方法などをグループワーク形式で学んだ特別授業＝さいたま市南区の県立浦和商业高校